

## 村長の日記

---

3月14日(月)

3月7日前後から始まった体の変調がピークに達した。

弟に言わせると「兄貴は大痔主」、とりあえず尾花君に頼んでいたドクターにお願いしてオペをして頂いた。

14時より区長会がある、それに出たい。椅子に腰掛けるのは20分以内ならOKとの答え。

区長会の冒頭に「東日本大震災に募金をお願いしたい」と挨拶し、退席させていただいた。

家に帰り横になってTVを見るにつけ、えげつない地震、桁外れの津波としか言いようがない。

特に心配なのは東電の福島原発、手遅れにならないければいいが。

3月15日(火)

### 朝9時

ドクターにお願いし手当を施してもらう。

車を運転できるようになったのは先生のおかげ、ただやはりオペの翌日、あたり所が悪いと非常に痛い。12日、13日の夜はほとんど寝られなかったことを思うと、14日の夜はとても熟睡できた。

TVを見ると、原発の状況が徐々に悪くなってきた。放射能の影響が出てるらしい。広島、長崎の次は福島にならないように、現場の皆さんの働きに感謝。CNNによると、現場で対処している人たちはまさに英雄、ヒーローと称えている。

### 明日開会の全員協議会のレクを受ける。

村の東日本大震災への援助と、援助方法の説明、水道の維持計画、保育料の値上げ、南河内消防広域化協議会の説明、健康千早赤阪21の説明、盛り沢山の説明を受ける。

### 夜

長男が録画していたBBTの画面で大前研一氏の原発に対する解説を聞いた。大前氏はマサチューセッツ工科大学で原子力工学を学び、日立製作所で原発の設計に携わり、その後経営コンサルタントに転身、マッキンゼー・アンド・カンパニー日本支社長になった人。テレビで報道されている原発の状況とは少し違う、非常に分かりやすい解説だった。菅総理はこの解説を聞いただけだろうか？

## 村長の日記

---

3月16日(水)

**9:30**

### 全員協議会

清井議長の黙とうで始まった。

3月11日に発生した、東日本大震災への村の対応は、

○大阪府の要請により防災倉庫の備蓄していた 毛布、アルファ米等 防災グッズをすべて提供する。

○村より50万円の支援をする。

○各種団体の義援金受付は、総務課秘書政策グループ。

○一般受付は役所会計及び小吹台連絡所。

なお、募金箱の設置は3月14日より開始。 役所、小吹台連絡所、くすのきホール、郷土資料館、保健センター、B&G海洋センターの6か所に設置。

水道基本計画でいろいろな意見が出た。

村の水道は合併話の時、水道設備を河内長野のレベルに整備するには47億円掛かるとされた。しかし、村の財政力の範囲内で住民に安全な水を届けるには、どのくらい掛かるかを昨年から作成していた。 やっと算出はできたが、まだ財政との関連、経営戦略プランとの整合まで時間が無かった関係で、未完成のまま提案した為、辻つまの合わない所がままあった。 これからもっと念を入れよう。

出来るだけわかりやすい説明と、実行可能性を説明できるように再編する必要がある。

4月1日から発足する水道企業団の行方が、水道基本計画と村の水道行政に大きな影響を落とす。(水道企業団は、42市町村で経営することになっている) 早く結論を出したい。

3月17日(木)

### 幼稚園の卒園式

24人の園児が非常に元気に、「将来はサッカー選手になりたい」「警察官になりたい」「お菓子屋さんになりたい」自分の思いを語る。

この子供たちの将来に、あまり私たちの影を落とさないように、いい村を作りたい。

## 村長の日記

---

大地震、大津波が起こった。原発が危ない。悪い話ばかりの日本だが、子供たちを見ていると元気が湧いてくる。

### 13時より

#### 正副市長会長、正副町村長会長のミーティング

知事に対し、遠慮なく府下の市町村の力を使い、OneOsaka で支援に当たろう。知事の号令一下行動を起こそうと合意した。

知事より、

支援物資は現場からのニーズを府で掌握し、市町村へ要請する。

集積場所は万博公園、八尾飛行場、りんくうタウン、の3か所。

集積場所からは大阪府が輸送を引き受ける。

特に私からお願いしたいのは、被災した方々が非常に多く、住宅が大量に必要と思われる。能勢とか、千早赤阪村は住環境が東北とよく似ていると思われる、ぜひ提供してほしい。

役所に帰り、事務方と具体化に向けて話し合った。

3月18日(金)

### 9時30分

#### 赤阪小学校卒業証書交付式

最近はややこしい、昔は卒業式、蛍の光と、仰げば尊し が定番だった。

今は、別れの言葉、贈る言葉、私たちの時代にはなかった歌が数曲うたわれる、時代とともに変わっていく、ものすごく変わるのは行政だけかと思ったが、すべて変わっていくのだ。

### 1時30分

#### 楠公史跡保存会来庁

水仙の丘の水仙が咲いている部分のほとんどが個人の持ち物だが、保存会は地主と何の契約もなく使用している。

地主より、今後使用するについては買い取るか、何らかの方法を取ってほしい、との要望があった。

保存会としては、買い取りはできない、遊歩道を作る気もない、地主との話は役所でしてほしい。

## 村長の日記

---

すべて役所任せ、当事者能力なし、この状態が村中蔓延して無気力な村を作ったのかな？  
村に元気を植え付けるには村民の意識改革から。  
同じことは国にも言える、福島原発の報道を聞くにつけ当事者は誰なのか、今一つわからない。

3月19日(土)

今日は福島原発に東京都消防局が参加した、ぜひ成果を上げてほしい。

**1時**

**東阪で葬儀**

今年は葬儀が非常に多い。今年に入って23人目だと思う、子どもの出生数が伸びないのに、まさに少子高齢化を絵に描いたようだ。

**夜**

東京消防庁の皆さんが、原子炉冷却用の海水を、連続で1500トンほど注水したとの話。  
淡々と説明する消防局の話聞いて、福島原発報道で初めて、得心と納得の出来る話を聞いた。

3月20日(日)

今日でまつまの、水仙の丘 出店は終わるそうだ。去年は2月一杯で終わったが、今年は寒さが続き3月20日の今日でも花がきれいだ。

**1時30分**

**楠公史跡保存会総会**

そろそろイノベーションを始めていただきたいと思うのだが、この状態で時代を乗り切っていけるだろうか？

**3時**

**OJS48のメンバーがまつまさへ来店**

AKB48の向こうを張って、大阪府警の刑事さんのOBが集まって作ったおじさんコーラス。

「深呼吸」がデビュー曲、意外にいい曲だ。我々おじんには歌いやすく、いいテンポだが、なかなか大ヒットまでは行かない。  
一緒にビールを飲んだが、非常に良い人たち。深呼吸のヒットと、次のレーベルを早く出してほしい。

## 村長の日記

---

夜の報道は、厳しさをまず被災地域の様子を伝えている。 週明けには大阪府とともに手を差し伸べよう。  
福島原発の対策は、東京消防庁をはじめ皆さんの努力により少しずつ良い方向に向かっているようだ。

3月21日(月) 春分の日

久しぶりに何も無い1日。 あいにく朝から雨、皮肉なもので何も無い日は雨。

TVは相変わらず大津波の報道をやっている、いかに大きな津波だったかわかる。

消防の皆さん、自衛隊の皆さん、東電の職員、東芝・日立の職員さんは、福島原発の対策に正に命がけ。

目に見えない放射能との戦い、時間との闘い、ただ感謝のみ。 皆さんの努力がなければ日本はダメになる。

遠く離れて報道で知るだけの我々は皆さんの無事を祈念するだけ。

### 午後

#### 河南町 武田町長と話す

今回の大震災から学ばなければいけない大事なことは、東京一極集中をやめる時が来たことだ。

今回の地震で東京圏の電力が足りなくなった。 当分の間(20~30年)は原発を作れない。 火力発電所を作るにも2~3年はかかるだろう。

無秩序に一極集中を続けた結果が今の停電だ。

地方へ 人・モノ・金 をダイナミックに配分出来るのは、自民か？民主か？公明か？みんなの党か？

少し古いが、今は亡き 田中角栄 なら、日本列島を改造するかもしれない。

今、名古屋、大阪、阿久根、至る所で地方自治が大変革しつつある。 大震災で加速されるのは間違いない。

役所全体でイノベーションに取り組むときだ。

3月22日(火)

### 昼食会

富田林市市長室で、富田林市 多田市長、太子町 浅野町長、私、で昼食会。 現在進行中の消防広域化を話し合った。

村のような小さな自治体で、自衛消防を持つのは不可能。 広域消防に加盟して安全、安心を得る以外方法がない。 広域消防の一員になる

## 村長の日記

---

か、消防を委託するかは別にして、現在と同じ負担でより高い安全を手に入れることが可能ならば、村としては大歓迎。

### 13時

#### ダイヤモンドトレイルサミット幹事会

今回は 太子・河南・河内長野・和泉・千早赤阪の大阪側に加えて、橋本・五条・御所・香芝・葛城 の和歌山、奈良県側も参加いただいた。

東日本大震災の後ではあるが、5月14日に首長によるトレイルウオークパート2 の開催を行いたい。

ダイトレを利用して人を集めるだけでは能がない。

人数よりも、山麓にお金をたくさん落としてもらおうシステムを、作り上げる知恵を出していただきたい。

3月23日(水)

明日は議会最終日、やっと答弁調整も終わった、

### 13時

#### 大阪観光コンベンション協会評議員会 (中之島公会堂)

東日本大震災の影響が、大阪に大きく影を落としている。

中国観光協会の委員の話では、福島原発の状況が安定するまで、中国発日本行きの団体旅行団はすべて中止。

「大阪と福島は非常に遠いが？」の問いに対して、「昨年、中国の四川省で地震があったが、当時、日本から北京・上海へのツアーが極端に減少した。四川省と北京・上海は 4000Km あるんですよ、福島と大阪は 500Km ぐらいでしょ？ その7～8倍の距離があっても影響があるんですから。」福島原発が落ち着かないと、外国からの来日客減はまだまだ続く。

3月24日(木)

#### 議会最終日

開会前に、村の、東日本大震災の支援状況報告。

避難場所提供

・くすのきホール、B&G 海洋センター、保健センター、自然休養村管理センターを 避難センターとして提供。約400人受け入れ可能。

## 村長の日記

---

- ・その他避難所については、地区の老人憩いの家等を地区と協議の上、提供。
- ・孤児の養子縁組なども考慮する。

救援物資：

アルファ化米、軍手、毛布、救難倉庫にあるものすべて。

義援金：

村議会	10万円(ポケットマネー)	千早赤阪村	50万円
職員親睦会	10万円	一般団体(8団体)	35万4千円
個人	19万4百円		

募金箱：

合計 132万7888円

(3月23日現在の金額)

- 21号議案 義援金50万円予算補正 可決。
- 22号議案 消防団用、可搬式ポンプ及び積載車3台の契約 可決。
- 23号議案 関東東北大震災に対し、心からのお見舞いと、可能な限りの支援を決議する。

一般質問

一般質問は質問要旨を掲載します、答弁については議会広報で。

浅野議員

- ・平成23年度を初年度とした千早赤阪村第4次総合計画(以下4次総計と略)ができた、4次総計を推進する村長の決意は。
- ・村の国民保険財政は今健全だ。国民保険財政の安定、負担の公平化、事務の効率化、制度の持続性を高める目的で、国民保険の府一元化が行われる、村の対応は？。

貝長議員

## 村長の日記

---

- ・公立中学校給食補助への、府下市町村の反応が掲載された。村は「情報収集はするが具体的な反応なし」具体的に内容を。
- ・府は4月～5月に補助制度の具体策を示し、市町村の意向を確認する。村の反応は？。
- ・府下中学生の実施希望は5%～20%程度である。村内のPTA生徒の意向調査は？
- ・府は、1校あたり2.1億円の2分の1補助する計画、新たな設備、施設更新等補助対象は明らかになっているのか？試算するつもりはないのか？
- ・府下市町では、耐震改修空調を優先順位としている。村では千早小吹台小学校の耐震改修が予定されている。村の方針は？

### 田中議員

- ・大阪府は、公立中学校給食に246億円の助成金を計上した
  1. 教育委員会の考えを聞きたい
  2. 有識者による(中学校給食を考える会)を作り検討しては？
- ・川西大橋は3月3日、4車線供用された。
  1. 河南千早赤阪バイパス進捗は？
  2. 信号など、地元住民への対策は？
- ・金剛山系ではイノシシによる被害が多い。柏原市ではイノシシの解体処理施設が計画されている。
  1. 解体処理への考えは？
  2. 村は「被害対策チーム」をつくるのか？
  3. 金剛山系に数千頭いる、イノシシへの対応は？

### 豊田議員

- ・職員定数は決まっているのか、将来の削減目標は？
- ・年々出る退職者の行く末は？
- ・65歳までの再任用の話はあるが、昨年まで退職した職員の処遇は？
- ・村の職員数に対し、臨時職員のパーセンテージは？

## 村長の日記

---

### 井上議員

- ・ 4次総計で学校教育は「幼少中一貫教育推進と英語力の充実」となっている、具体策は？。
- ・ 特色ある教育は活力ある村造りにつながる、実現に際しては教職員の強い組織力が学校力を高める、教育委員会の見解を？
- ・ 309号線の通行量は増加傾向です、川野辺地区のバス停から河南赤阪バイパス間の府道は狭く、安全には側溝改修が課題です。  
早く改修を

### 橋爪議員

- ・ 村には農、林、魚、観光、商、工業があるが、いずれも十分育ってない。
  - 1.産業を育ててゆく方法、時期は。
  - 2.産業育成は民力が必要、対応策は？
  - 3.教育は産業と思うか？

### 徳丸議員

- ・ 府は250億円の中学校給食補助を導入する、村も検討して導入すべきでは？
- ・ 村の国民保険財政調整基金は1億4千万円ある、国保料金引き下げを。
- ・ 住宅リフォーム助成制度を作り助成しては。

### 関口議員

- ・ 村の花(山百合)の再生に努力を。
- ・ 国が進めている幼保一元化に対する見解を。
- ・ 村の人口増加策として共産党が提案してきた、空き家対策、大学生への奨学金制度の創設を。

一般質問は以上、答弁は議会だよりをお読みください。

3月25日(金)～3月28日(月)

三年前、孫の良介が富田林市立藤沢台中学に入学したとき、三年後には自分は高校入学、妹は中学入学となるので、2人の入学祝にハワイ

## 村長の日記

---

に連れて行って欲しいと言うので約束した。2人とも、無事 高校、中学に入学した。

三月議会の日程が決まった時にハワイ行きのツアーを探したが、既にハワイは満杯。探して探して、やっと空きのあったグアムに3泊4日で行く事になり、約束を果たした。

3月29日(火)

**朝**

**大阪府市町村振興協会来庁**

理事会の説明 財団法人大阪府市町村振興協会が、公益財団法人大阪府市町村振興協会になる。

法人法改正にかかる規則変更だけでも莫大な量の印刷物。このおかげで市長会、町村長会、町村議長会が一つになる。

組織が減ると将来職員数が減少する。明日の大阪にとっていいことだ。

**10時**

**越井木材 越井社長来庁**

村にもでかい山林を持つ、富田林出身の財閥。会長は昨年まで大阪府森林審議会メンバー。

府の森林政策に的確なコメントを発信していただいた。

杉材を240℃で処理した板でビルを覆うことで、夏にビルの表面温度を下げるができる。つまり夏の冷房を節約できることでCO<sup>2</sup>排出をダウンできる。

処理した杉材は半分炭化しており、昔より家の外装材として使われてきた杉の焼板と同じで、そのまま放置しても60年は持つらしい。

とりあえず1立米5000円は高く杉材を売ることができる。

木育、千早赤阪のように材木の産地では、材木を利用した教育を提案された。教育委員会に提案する意義がある。

**11時30分**

秘書課の井ノ本君、岩手県へサポート隊の1員として出発。汗を流して無事に帰るように。

## 村長の日記

---

3月30日(水)

平成23年度も、あと2日で終わる。

色々なことがあったこの1年の年度末、あわただしく感じる。

4月1日より、大阪維新の会の台頭著しい大阪府議会議員の選挙が始まる。村の選挙区では、鈴木 憲、吉村 善美 の2現職が当選の無風選挙、若い2人の当選を望む。

### 午後

4月1日の出陣式を前にして、選挙準備に忙しい府議会議員候補者の事務所へ「勝利」の為書きを持って回る。

南河内の府議はほとんど維新の会。ぜひ仲良しの府議会議員が当選して、よい大阪、よい千早赤阪を実現してほしい。

3月31日(木)

### 本年度最終日

既に内示も済んでいるので、新年度に向けて異動の準備に皆さんあわただしい。よく言えば保守的、または固い、皆さんの頭を少し前向きにやわらかく出来ないか？

役人にとってまさに受難の時代と私は捉えているが、少しは引き締まった役所ができると思う。

### 3 : 3 0

### 退職辞令交付

西浦、前川の課長2人、越野、清永 女性2人に対し退職辞令を交付。

長い間の勤務、ごくろうさまでした。

ただ、4人は明日の新年度から再任用制度で週3日の勤務となる。

再任用制度が定着するよう、きっちり勤務してくれればいいと思う。

この4人の仕事次第で、この制度の命運が決まる。